

# 年齢区分に関する国内運用ルール (2018/2019 シーズン)

SAJ 競技本部 ルール・公認施設小委員会 2018年7月1日

※年齢区分一覧

生年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
学年	大4早 大3	大3早 大2	大2早 大1	大1早 高3	高3早 高2	高2早 高1	高1早 中3	中3早 中2	中2早 中1	中1早 小6	小6早 小5	小5早
FIS区分	FIS	U21 (FIS)		U18 (FIS)		U16 (Youth)		U14 (Youth)				
SAJ区分	シニア						K2					
国体区分	成年A組						少年組					
							K1					

- \* SAJ 公認大会における競技用品ルールならびに競技ルールは、K2 は U16、K1 は U14 ルールを適用する。ただし SAJ ユース競技会開催要領を優先する。
- \* 中3 早生まれ、中3、高1 早生まれの各競技者は、SAJ-B 級大会ならびに、国体少年組に出場できる。その際は、シニアのマテリアルルールが適用される。
- \* 高1 早生まれの競技者は、JOC ジュニアオリンピックカップ K2、全日本ジュニア選手権 (スピード系)に出場できる。ただし全国中学には出場できない。

# スキー用具に関する国内運用ルール (2018/2019 シーズン)

SAJ 競技本部 ルール・公認施設小委員会 2018年7月1日

## ※スキーの長さ及びラディウス一覧

種目	DH		SG		GS		SL					
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子				
カテゴリー大会	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス (m)	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス				
	*表記はどちらも最小値											
COC	210	50	205	40	210	45	188	30	193	30	155	165 *1
FIS / NC	205	50	200	40	205	45	183	30	188	30	155	165 *1
SAJ公認大会 (ユース競技会以外)	205	50	200	40	205	45	183	30	188	30	155	165 *1
SAJ公認大会 (K2 (U16))	-	-	-	27	175	27	188以下	17	188以下	17	130	130
	-	-	175以上 推奨*2	30以上 推奨*2	183以上 推奨*2	30以上 推奨*2	188以下 推奨*2	17以上 推奨*2	188以下 推奨*2	17以上 推奨*2	130	130
SAJ公認大会 (K1 (U14))	-	-	-	-	-	-	130 188以下 推奨*2	14 17以上 推奨*2	130 188以下 推奨*2	14 17以上 推奨*2	130	130

\*1: U18 の 1 年目は SL において、-10 cm の許容差を認める。 \*2: SAJ カテゴリーのみ。国際大会では FIS に準ずる。 \*3: スキー長はスキー板に記載されている数値で判断する。

## ※スキー用具適用一覧 (抜粋)

種目	DH		SG		GS		SL	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子
1.2.1.2.1	シニア	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	63mm以上	
	ユース	-	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	-	
1.2.1.2.2	シニア	95mm以下	95mm以下	95mm以下	103mm以下	103mm以下	-	
	ユース	-	-	-	-	-	-	
スキー高	スキー板+プレート+ビンディング							
ブーツ高	すべてのハードおよびソフトパーツを含む ヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔							
ヘルメット	全てのFIS及びSAJ公認大会では、新規格対応表示(FISステッカー[RH2013])が明示されているヘルメットの着用を義務とする。 新規格ヘルメットルールはDH、SG、GS競技に適用される。 公式用品ルール6.2.4によりヘルメットにはメーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。 SLでは、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077またはASTM2040認証が必須である。(SAJレースにおいては推奨) ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。							
ワンピース	FISレースのDH、SG、GSで使用される競技スーツはFIS規定の空透過基準をクリアしたスーツのみ使用できる。 新規格適合スーツにはプリントの適合ラベル[CS2015]が標記されるが、プロンピング(FIS冠)によるスーツも2018/2019シーズン終了時まで使用することができる。(新スーツへの完全移行が1年先送りとなった。) 新規格スーツが適用されるのは、オリンピック・世界選手権・ワールドカップ・ジュニア世界選手権・コンチネンタルカップであり、FISレベル及びユース大会は適用より除外される。 ※DH用スーツは、プロテクター(パッド)を競技スーツと一体にすることはできない。							